



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 特殊電極株式会社

コード番号 3437 URL <https://www.tokuden.co.jp>

代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）西川 誉

問合せ先責任者 （役職名）取締役管理本部長兼経理部長 （氏名）片岡 達哉 TEL 078-941-9421

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切り捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	8,000	3.3	436	△22.5	453	△20.7	322	△16.7
2025年3月期第3四半期	7,742	7.2	563	13.0	571	9.9	387	7.1

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 356百万円（△13.1％） 2025年3月期第3四半期 410百万円（6.8％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	204.03	—
2025年3月期第3四半期	245.16	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期第3四半期	11,560	7,854	67.4	4,924.19
2025年3月期	11,911	7,654	63.8	4,806.61

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 7,790百万円 2025年3月期 7,599百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	46.00	—	51.00	97.00
2026年3月期	—	50.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	50.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	10,010	△5.0	522	△17.9	528	△18.1	400	△14.4	253.12

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	1,602,000株	2025年3月期	1,602,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	19,896株	2025年3月期	21,039株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	1,581,626株	2025年3月期3Q	1,580,961株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されました。しかしながら、米国の通商政策や物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響が、景気を下押しするリスクとなって存在し、先行きの見通せない不透明な状況で推移しました。

このような状況の中にあつて当社グループは、営業部門におきましては、営業活動の効率化と高度化を推進し、売上拡大に鋭意努力してまいりました。

生産工場及び工事工場におきましては、安全第一のもと、技術の伝承を進めると共に品質の向上や作業の効率化を推し進めてまいりました。

研究開発などの技術部門におきましては、新技術、新製品、新装置の開発並びに既存技術の向上に取り組んでまいりました。

また、海外子会社におきましては、販売体制の強化を進めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は8,000百万円（前年同四半期比3.3%増）となりました。損益面におきましては、営業利益は436百万円（同22.5%減）、経常利益は453百万円（同20.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は322百万円（同16.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 工事施工

積極的な提案型営業と高度技術の提供、徹底したコスト削減の実行により、受注拡大に努めました結果、トッププレート工事の受注は減少しましたが、電力関連現地機械加工工事、鉄鋼関連の保全工事の受注が増加したことにより、売上高は5,996百万円（前年同四半期比3.1%増）、セグメント利益は866百万円（同7.0%減）となりました。

② 溶接材料

直販体制の優位性を活かし、新規顧客の開拓と既存顧客の更なる深耕による販売力強化に努めました結果、当社の主力でありますフラックス入りワイヤなどの製品の売上高は459百万円（前年同四半期比10.4%増）となりましたが、商品のアーク溶接棒、TIG・MIGなどの溶接材料の売上高は557百万円（同8.5%減）となり、溶接材料の合計売上高は1,017百万円（同0.8%減）、セグメント利益は109百万円（同1.4%増）となりました。

③ 環境関連装置

自動車産業用試験装置・検査装置の受注は減少しましたが、自動車用ギヤの加工・熱処理ラインの受注が増加したことにより、売上高は422百万円（前年同四半期比2.6%増）、セグメント利益は44百万円（同12.3%減）となりました。

④ その他

自動車関連のアルミダイカストマシーン用部品の受注が増加したことにより、売上高は564百万円（前年同四半期比15.9%増）、セグメント利益は38百万円（同7.0%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、11,560百万円となり、前連結会計年度末に比べ350百万円減少しました。これは、商品及び製品150百万円の増加がありました。受取手形、売掛金及び契約資産331百万円、建物及び構築物（純額）145百万円の減少が主な要因です。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、3,706百万円となり、前連結会計年度末に比べ549百万円減少しました。これは、未払法人税等129百万円、賞与引当金222百万円、その他（流動負債）125百万円の減少が主な要因です。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、7,854百万円となり、前連結会計年度末に比べ199百万円増加しました。これは、利益剰余金162百万円の増加が主な要因です。

この結果、自己資本比率は67.4%（前連結会計年度末は63.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当初の計画通りに推移するものと考えており、現時点におきましては、2025年5月15日発表の業績予想に変更はありません。今後、業績予想に関して修正の必要性が生じた場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,703,684	1,640,265
受取手形、売掛金及び契約資産	4,070,783	3,738,815
電子記録債権	455,781	472,786
商品及び製品	968,075	1,118,496
半成工事	180,513	144,993
原材料及び貯蔵品	151,811	168,810
その他	79,723	94,518
貸倒引当金	△273	△255
流動資産合計	7,610,098	7,378,431
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,085,459	1,939,791
その他（純額）	1,566,750	1,668,664
有形固定資産合計	3,652,209	3,608,455
無形固定資産	45,668	40,272
投資その他の資産		
その他	630,033	533,578
貸倒引当金	△26,856	—
投資その他の資産合計	603,176	533,578
固定資産合計	4,301,053	4,182,307
資産合計	11,911,152	11,560,738

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	641,440	557,551
電子記録債務	747,809	806,035
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	100,200	100,200
未払法人税等	129,791	—
賞与引当金	349,694	126,999
業績連動報酬引当金	—	4,751
工事損失引当金	6,555	5,025
その他	546,476	420,773
流動負債合計	3,021,967	2,521,337
固定負債		
長期借入金	684,300	609,150
退職給付に係る負債	522,725	540,436
その他	27,271	35,616
固定負債合計	1,234,297	1,185,203
負債合計	4,256,265	3,706,540
純資産の部		
株主資本		
資本金	484,812	484,812
資本剰余金	394,812	395,300
利益剰余金	6,595,420	6,758,385
自己株式	△40,574	△38,370
株主資本合計	7,434,470	7,600,127
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	107,559	126,569
為替換算調整勘定	11,586	17,906
退職給付に係る調整累計額	45,441	45,978
その他の包括利益累計額合計	164,587	190,454
非支配株主持分	55,829	63,616
純資産合計	7,654,887	7,854,198
負債純資産合計	11,911,152	11,560,738

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	7,742,577	8,000,404
売上原価	5,604,127	5,904,259
売上総利益	2,138,449	2,096,144
販売費及び一般管理費	1,574,767	1,659,522
営業利益	563,682	436,622
営業外収益		
受取利息	406	825
受取配当金	5,312	6,000
駐車場収入	2,511	3,766
交付金収入	—	9,425
その他	6,249	6,272
営業外収益合計	14,479	26,290
営業外費用		
支払利息	4,061	6,767
駐車場収入原価	1,317	1,773
為替差損	857	722
営業外費用合計	6,236	9,263
経常利益	571,925	453,649
特別利益		
固定資産売却益	2,407	148
特別利益合計	2,407	148
特別損失		
固定資産除却損	17,420	279
特別損失合計	17,420	279
税金等調整前四半期純利益	556,912	453,518
法人税、住民税及び事業税	128,370	64,894
法人税等調整額	36,395	64,593
法人税等合計	164,766	129,487
四半期純利益	392,146	324,031
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,565	1,331
親会社株主に帰属する四半期純利益	387,581	322,699

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	392,146	324,031
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,411	19,010
為替換算調整勘定	9,147	12,774
退職給付に係る調整額	4,547	537
その他の包括利益合計	18,106	32,322
四半期包括利益	410,253	356,353
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	401,069	348,566
非支配株主に係る四半期包括利益	9,183	7,786

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	工事施工	溶接材料	環境関連装置	計				
売上高								
一時点で移転 される財 (注) 4	3,721,322	1,025,419	89,200	4,835,942	487,397	5,323,339	—	5,323,339
一定の期間に わたり移転 される財	2,096,847	—	322,390	2,419,238	—	2,419,238	—	2,419,238
顧客との契約 から生じる収益	5,818,170	1,025,419	411,591	7,255,180	487,397	7,742,577	—	7,742,577
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	5,818,170	1,025,419	411,591	7,255,180	487,397	7,742,577	—	7,742,577
セグメント間の 振替高	—	366,828	—	366,828	47,860	414,688	△414,688	—
計	5,818,170	1,392,247	411,591	7,622,008	535,257	8,157,265	△414,688	7,742,577
セグメント利益	931,340	108,308	50,566	1,090,215	35,825	1,126,040	△562,357	563,682

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に自動車産業向けのアルミダイカストマシーン用部品の販売であります。

2. セグメント利益の調整額△562,357千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費)であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 契約における取引開始日から完全に履行義務を充足すると見込まれる時点までの期間がごく短いため、代替的な取扱いを適用し、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識している工事契約を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2025年4月1日至2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	工事施工	溶接材料	環境関連装置	計				
売上高								
一時点で移転 される財 (注) 4	3,872,222	1,017,025	94,076	4,983,324	564,983	5,548,308	—	5,548,308
一定の期間に わたり移転 される財	2,124,057	—	328,037	2,452,095	—	2,452,095	—	2,452,095
顧客との契約 から生じる収益	5,996,279	1,017,025	422,114	7,435,420	564,983	8,000,404	—	8,000,404
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	5,996,279	1,017,025	422,114	7,435,420	564,983	8,000,404	—	8,000,404
セグメント間の 振替高	—	335,177	—	335,177	53,526	388,703	△388,703	—
計	5,996,279	1,352,203	422,114	7,770,597	618,510	8,389,107	△388,703	8,000,404
セグメント利益	866,398	109,792	44,348	1,020,539	38,335	1,058,875	△622,253	436,622

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に自動車産業向けのアルミダイカストマシン用部品の販売であります。
2. セグメント利益の調整額△622,253千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用（主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費）であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 契約における取引開始日から完全に履行義務を充足すると見込まれる時点までの期間がごく短いため、代替的な取扱いを適用し、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識している工事契約を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	281,463千円	288,555千円